

三月二十四日

十一時INAX出版来室。「批評と理論」の売れ行きが好調のよう、四月に何かやりたいとの事。東北の阿部仁史さんに連絡取って東京以外に仙台でもやったらと伝えた。

十三時教室会議、その他。十五時四〇分教授会。十七時前研究室に戻る。雑事。学会選挙の件。その後二十一時迄打合わせ。二十二時世田谷村に戻る。HPのアクセスが急増している。これはどういふ事か。ライブドアとニッポン放送・フジTV騒動も影響しているのかな、と妄想。

三月二十五日

風強く快晴。七時カバークラム「アジアのモリス」書く。日記以外に毎日、コラム&週刊建築他を書いてみようと思いつたのだが、これは大変である。もう止めるか、どうか。どっちでも良いか。只今九時二〇分新木場に向かっている京王線車中。今日は十一時からトモコーポレーションの社屋、倉庫の竣工式。十時十分新木場駅着。早過ぎて駅構内のコーヒーストップで炭火コーヒィ。こういう空白とも思える時間が最近多くなった。十三時過落成式了。猪苗代鬼沼のアジア民芸村の構想も進めなくてはと思った。十四時品川。只今山手線で新大久保へ向かっている。十四時四十五分研究室。今夕のレクチャーマテリアル、チェック。

十七時半前、只今地下鉄で東銀座ニッサン本社へ。十八時過ニッサン自動車にてミーティング。二〇時半迄。二十一時半新宿で

社長若松氏とミーティング。若松氏は明日よりモスクワへ。具体的なプロジェクトに関しての討議を重ねる。二十三時半迄。世田谷村に二十四時二〇分戻る。若松氏と打合わせを重ねる度に、情報ビジネスのファンタジー的性格のリアルさを学んでいる実感がある。ソフトバンクとライブドアの力学関係も彼に説明してもらって理解できた。ITビジネスの特質はマネーの速力なのだ。速力の現実離れた浮遊状態すなわち資本主義的ファンタジーこそ今の経済の特質であるようだ。そのドキュメントを学びつつ、建築のどうしようもない重さの現実を相対的に知りつつあるのが今の状態だな。ITビジネスの連中は、要するに織田信長の「敦盛」を実践している。その事実だ。資本主義はファンタジーの現実に到達してしまった。これは一種の宗教的現実でもある。